### 株主メモ

事業年度 毎年2月1日から翌年1月31日まで

 基準日
 毎年1月31日

 株主総会
 毎年4月

1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告による公告

但し、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場

合は、日本経済新聞に掲載して行います。

〈公告掲載URL〉https://www.maruzen-chi.co.jp上場東京証券取引所スタンダード市場

m.y.二 1 31

## 株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内1-4-1 特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 〒168-0063

同事務取扱場所 東京都杉並区和泉2-8-4

■便物送付先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話別会先 電話フリーダイヤル0120-782-031同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社全国各支店

# 住所変更、単元未満株式の買取、

配当金受取方法の変更等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に□座がないため特別□座が開設されました株主 様は、特別□座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申 し出ください。

# 配当金のお受け取りについて

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様は、より安全かつ迅速に配当金をお受け取りいただける、口座振込のご利用をおすすめいたします。お手続きについては、上記同様に証券会社もしくは三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。







この報告書は、FSC®認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

# 2025年 大阪・関西万博オフィシャルストアを出店

丸善ジュンク堂書店は、2025年大阪・関西万博夢洲会場内に「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 東ゲート店 MARUZEN JUNKUDO」を出店しています。

## 期間 2025年4月13日(日)~10月13日(月)

詳細……

https://corp.maruzenjunkudo.co.jp/info/20241225-01/

また、MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店、丸善 丸の 内本店、丸善 名古屋本店、MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店、ジュンク堂書店 難波店、丸善 京都本店、ジュンク 堂書店 三宮駅前店、丸善 広島店、ジュンク堂書店 福岡店、 ジュンク堂書店 那覇店の各店舗内に2025大阪・関西万博オ フィシャルストアを開店して、公式ライセンス 商品を販売しています。

詳細 -----

https://corp.maruzenjunkudo.co.jp/info/

©Expo 2025

# 2025年 今後のIRカレンダー

6月中旬 第16期 第1四半期決算発表

7月31日 中間日(株主権利確定日)

9月中旬 第16期 第2四半期決算発表

9月下旬

株主様向け「ビジネスレポート」に 株主優待商品券を同封して発送

1単元(100株)以上ご所有の株主様に、

全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗\*で ご利用いただける商品券をお送りいたします。 \*ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。



決算情報や株主優待の詳細は 当社ホームページをご覧ください。

https://www.maruzen-chi.co.jp 丸善CHI







株主・投資家の皆さまへ

第15期 2024.2.1 - 2025.1.31

丸善CHIホールディングス株式会社

証券コード:3159

# 連結業績サマリー

(単位:百万円)



# てグメント別業績

売上高構成比

28.3%

39.9%

22.8%

## 文教市場販売事業

売上高 **46,819** 百万円 (前期比 100.7%) 営業利益 **3,250** 百万円 (前期比 100.6%)

# 店舗・ネット販売事業

売上高 **66,085** 百万円 (前期比 99.8%) 営業利益 **378** 百万円 (前期比 106.8%)

# 図書館サポート事業

売上高 **37,682** 百万円 (前期比 105.7%) 営業利益 **2.923** 百万円 (前期比 95.0%)

# 出版事業

売上高 **3,641** 百万円 (前期比 94.1%) **営業利益** △**107** 百万円 (前期比 − )

# その他事業

売上高 **11,328** 百万円 (前期比 106.2%) 営業利益 **354** 百万円 (前期比 276.2%)

教科書などの書籍販売は減少したものの、教育・研究施設、 図書館などの設計・施工における大型案件の完工増加により、 増収増益となりました。

「駿河屋」を3店舗、「絵本の世界を楽しむことのできる空間」をコンセプトとした「EHONS」を5ヶ所、2025大阪・関西万博オフィシャルストアを9ヶ所、㈱バンダイのカプセルトイブランド「ガシャポン」の専門店「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」及び「本屋さんのガシャポンのデパート」をオープンするなど高利益率商品を取り扱う新形態の店舗展開に取り組んだ結果、減収増益となりました。

図書館受託館数は期初1,806館から34館増加し、2025年1月 末時点では1,840館(公共図書館624館、大学図書館246館、 学校図書館他970館)となり堅調に推移した結果、増収となり ましたが、人件費等の原価増加の影響により減益となりました。

専門書や児童書として合計新刊271点(前年241点)を刊行いたしました。教科書の売上減少及び新刊刊行の遅延に加え、原価増の影響により減収となり、利益面も営業損失となりました。

総合保育サービス事業及びPC修理に関する事業が順調に推移 した結果、増収増益となりました。

# ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援 ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの 2025年1月期連結業績は、左記のとおり売上高は増収、 営業利益は減益となりましたが、固定資産売却益の計上 があったことから親会社株主に帰属する当期純利益は増 益となりました。

文教市場販売事業は、書籍販売はやや厳しく推移しましたが、大学等教育・研究機関向け設計・施工案件の完工数が増加し、ほぼ前年並みの業績となりました。店舗・ネット販売事業は、書籍販売が厳しい市場環境の中でも



堅調に推移し、ホビーグッズのリユースショップ「駿河屋」のフランチャイズ店導入などにより、文具・雑貨の売上が大きく伸長しました。その結果、卸売先であるネット書店「honto」の紙の本の通信販売が終了したことが影響し減収になりましたが、増益を確保しました。図書館サポート事業は、受託館数は伸長しましたが、厳しい人材採用環境により人件費が上昇し、増収減益となりました。出版事業は、絵本・児童書分野、理工学書を中心にした専門書分野ともに市場環境が厳しく、減収減益となりました。その他事業は、総合保育サービス事業が子育て支援ニーズを背景に好調に推移した他、パソコンの修理・アップグレード設定等事業においても業績の回復が進み、増収増益となりました。

当社グループでは、2024年3月に公表いたしました中期経営計画において「知の生成と流通に持続的に貢献するための成長力と資本効率の向上」を目指すべき姿とし、①グループ資産の活用促進、②成長領域の創出、③収益構造の転換を取り組みの基本方針としております。当期においては、グループ横断の新規事業開発の推進に着手するなど、特に当社グループ内の様々な資産を強みとして活かした新規事業開発に積極的に取り組んでおり、今後はこれらの事業化に向けてさらに注力してまいります。

当社グループでは、この中期経営計画を実行することで、これからも社会への貢献と持続的成長が実現できるよう、企業風土の改革や事業構造の転換に努めてまいりますので、株主の皆様には引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

# TOPICS PLYDZ

# ㈱図書館流通センター

# 地域を結ぶ「知」の拠点

# 桜川市と北区で新施設の運営開始



送川市生涯学習センター「さくらす」



北区「ジェイトエル」

図書館流通センターは、茨城県桜川市の生涯学習センター「さくらす」と東京 都北区の公共施設「ジェイトエル」の運営を開始しました。これらの施設では、 図書館運営で培った豊富なノウハウを活用し、地域住民の多様なニーズに応じた 新たなサービスを提供しています。

さくらすでは、図書館と公民館の機能を備えた生涯学習センターとして、壁一 面に図書を配置する「メディアマウンテン」において地域の情報を伝えるとともに、 多目的スペースの「クリエイティブハブ」にて地域住民の学習ニーズに合わせた 講座やイベントを開催するなど、地域の文化振興やコミュニティの活性化に努め ています。

また、ジェイトエルでは、地元「十条らしさ」をキーワードに、多世代の交流を 促す公共施設として、クリエイティブルームやアクティビティカウンターなどにおい てサービスを提供し、地域住民の知的活動を支援しています。

図書館流通センターは、地域ごとのニーズや特色を活かした施設運営を通じ て、地域コミュニティの活性化や生涯学習の推進をサポートし、図書館の役割拡 大による地域創生へ貢献してまいります。

#### 図書館運営の未来を拓く 次世代ロボット「temi」の実証実験を開始

図書館流通センターは、図書館運営における次世代ロボット「temi\*」の実証実験を開始し ました。temiを活用することによって、利用者の案内や蔵書検索のサポートなど図書館業務の 効率化を図るだけでなく、図書館スタッフはより創造的な業務に取り組む時間を増やし、利用者 の満足度を高めることを目指しています。さらに、図書館スタッフや利用者がtemiを通じて新し い可能性を見出し、利用者同士のつながりを育む環境が期待されています。

この取り組みは、当社グループのデジタル戦略に基づいており、実証実験を通じて得られた 知見を活かし、図書館サービスのさらなる向上と地域社会における「知」の拠点としての役割 強化に貢献してまいります。

※「temi」は㈱hapi-robo st社が国内展開を担う次世代ロボットです。



# ㈱丸善ジュンク堂書店

# 新しい書店像の創出 東京・虎ノ門に新スタイル書店「magmabooks」オープン



新スタイル書店「magmabooks」店舗イメージ

丸善ジュンク堂書店は、2025年4月9日、東京・虎ノ門ヒルズ「グ ラスロック」の2~3階に新店舗「magmabooks」をオープンしました。 magmabooksは、これまでの書店の役割である「本の販売の場」 という枠を超え、本を読む前(読前)から読む最中(読中)、そして 読み終わった後(読後)まで体験価値を提供することで、知的興奮

と創造性をもたらす新しいスタイルの書店です。

「知は熱いうちに打て。」をコンセプトに、2階には本との出会いを 探索できる「知の森」や、問いを片手に本棚を巡るための仕掛け「問 い散歩」、3階には創造力のための集中とリラックスを追求した空間 「magmalounge」(有料)を用意しました。

magmabooksのこれまでにない取り組みにより、丸善ジュンク 堂書店は新たな成長領域を開拓していきます。

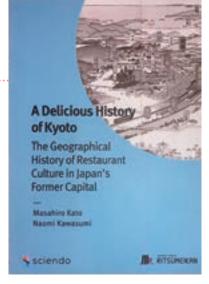
# 丸善雄松堂㈱

# 書籍の利活用拡大

# 立命館大学の英文特化型学術出版 第一弾書籍を出版開始

丸善雄松堂は立命館大学と締結した包括連携協定にもとづく英文特化型学術出版の第 一弾として、2025年1月に「A Delicious History of Kyoto: The Geographical History of Restaurant Culture in Japan's Former Capital」(電子版・冊子版)を 出版し、国際的な販路を開拓いたしました。

日本の人文社会科学の研究成果は多くが日本語で出版されているため、海外で十分に アクセスされていない現状があります。そこで、高度な知的資産を発信している立命館大 学と海外出版社とのネットワークを有する丸善雄松堂は、人文社会科学の学術研究成果の 発信に欠かせない書籍出版及び国際的な流通に着目し、世界的な出版・流通を担うドイツ の学術出版社De Gruyter社と三者間で契約を結び、国際的な出版と販路を構築しました。 今後も出版コンテンツの海外発信に取り組んでまいります。



# 連結財務データ

◆ 財政状態 (単位:百万円)	<b>当期末</b> (2025年1月31日現在)	前期末 (2024年1月31日現在)
総資産	132,733	128,896
流動資産	98,060	93,098
固定資産	34,673	35,797
(有形固定資産)	20,053	20,973
(無形固定資産)	1,481	1,207
(投資その他の資産)	13,138	13,616
負債	80,991	81,129
流動負債	56,714	56,562
固定負債	24,276	24,567
純資産	51,742	47,766
株主資本	50,290	46,569
その他の包括利益累計額	718	455
非支配株主持分	733	742

<ul><li>◆ キャッシュ・フローの状況</li><li>(単位: 百万円)</li></ul>	<b>当期</b> (2024年2月 1 日から (2025年1月31日まで)	前期 (2023年2月1日から) (2024年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,008	5,690
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,745	△ 1,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,424	△ 2,484
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	△ 9
現金及び現金同等物の増減額	2,326	2,083
現金及び現金同等物の期首残高	25,826	23,697
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	158	45
現金及び現金同等物の期末残高	28,311	25,826

決算情報の詳細は、当社ホームページ・ 財務ハイライトをご参照ください。

https://www.maruzen-chi.co.jp/ja/ir/finance/highlight.html



# 株式情報 (2025年1月31日現在)

# ◆ 株式の状況

発行可能株式総数		総数	240,000,000株
発行	済株式の	総数	92,554,085株
株	主	数	43,281名

# ◆ 大株主一覧

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	51,078,336	55.19
株式会社フォルトウナ	4,383,010	4.73
株式会社講談社	3,620,000	3.91
有限会社淳久堂	3,470,400	3.74
株式会社トーハン	3,294,406	3.55
株式会社小学館	2,203,500	2.38
石井 昭	1,306,426	1.41
MSIP CLIENT SECURITIES	1,124,400	1.21
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,107,277	1.19
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

# ◆ 所有者別株主分布状況



# ◆ 所有者別株式分布状況



# 会社情報 (2025年4月25日現在) .....

# ◆ 会社の概況

商	号	丸善CHIホールディングス株式会社
		(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)

本 社 〒162-0837 東京都新宿区納戸町40番地1

代表番号 03-5261-8171

U R L https://www.maruzen-chi.co.jp

2010年2月1日

資 本 金 30億円

事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供

サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館 等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理 及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会 社の株式を保有することによる当該会社の事業活動 の管理 他

# ◆役員

代表取締役会長	橋本	博文
代表取締役社長	五味	英隆
取締役	矢野	正也
取締役	谷一	文子
取締役	西川	仁
取締役常勤監査等委員(社外)	吉田	真一
取締役監査等委員(社外)	大胡	誠
取締役監査等委員(社外)	舟橋	宏和
取締役監査等委員(社外)	杉田	禎浩

# 

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を 越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を 得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



	〒104-0033
丸善雄松堂株式会社	東京都中央区新川1-28-23
	東京ダイヤビルディング5号館10階
株式会社図書館流通センター	〒112-8632
	東京都文京区大塚3-1-1
	〒104-0033
株式会社丸善ジュンク堂書店	東京都中央区新川1-28-23
	東京ダイヤビルディング5号館9階
	〒101-0051
丸善出版株式会社	東京都千代田区神田神保町2-17
	神田神保町ビル6階
株式会社丸善リサーチサービス	T162-0837
	東京都新宿区納戸町40番地1

5